

紀中森林組合だより

2024 年 7 月

仮本所事務所 〒644-1122 日高郡日高川町高津尾 1115 TEL 0738-54-0701 FAX 0738-54-0422
E-mail info@kichu-forest.com



総代会資料は、各事業所に備え付けています。

第8回 通常総代会開催



印南町議会議員
堀口 晴生 様



印南町長
日裏 勝己 様

6月22日、日高川交流センターで、第8回通常総代会を開催しました。本人出席48人、委任状9人、書面議決書97人、総代数154人が出席しました。

議案第一号から附帯議決まで慎重に審議し、すべての議案が原案のとおり可決承認されました。

柏木組合長が開会宣言をおこない、続く開会あいさつで、出席された総代のみなさんへの御礼と来賓への謝辞を述べた後、組合の目指す基本的な方向について理念も交えて所信を述べました。

その後、来賓より祝辞をいただき、祝電が披露されました。

総代会の議長は寒川正人さんが選任されました。

議事終了後、藤野副組合長が閉会のあいさつを行いました。

来賓の皆様

日高川町長 久留米 啓史 様
印南町長 日裏 勝己 様
日高川町議会議員 伊奈 禎胤 様
印南町議会議員 堀口 晴生 様
日高振興局農林水産部長 赤津 民芳 様
森林備センター和歌山水源林整備事務所 所長 荒木 俊博 様
日高振興局 林務課長 青木 一高 様
印南町産業課長 平田 雅則 様
日高川町林業振興課長 山下 貴史 様

通常総代会提出議案

- 【議案第1号】令和5年度決算関係書類及び剰余金処分案について
- 【議案第2号】令和6年度事業計画について
- 【議案第3号】令和6年度借入金金の最高限度の決定について
- 【議案第4号】各種手数料率について
- 【議案第5号】1組員に対する貸付金の最高限度額及び貸付金利率の最高限度について
- 【議案第6号】余裕金の預入れ先金融機関の決定について
- 【議案第7号】役員報酬の決定について
- 【議案第8号】定款の一部改正について
- 【附帯議決】

令和6年4月から 相続登記の申請が義務化されました

森林所有者の皆様へ

あなたがご持ちの森林の土地の相続登記はお済みですか？

・令和6年4月から、相続によって不動産を取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請を行うことが義務になりました。

・法施行より前に相続した不動産も、義務化の対象です。

・新たに設けられる「相続人申告登記制度」により、早期に遺産分割をすることが困難な場合には、申請義務を簡易に履行することができるようになります。

お問い合わせ先
制度や手続きの詳細については、法務省 Web サイトをご覧ください。



購買コーナー ぜひお立ち寄りください。

印南事業所でも販売しています。



木材市況 (田辺木材共販所)

令和6年5月9日(木)		第1395回市		出品量	約1,000m
樹種	長さ(m)	径級(cm)	中値(千円)	高値(千円)	気配
スギ	3	14~16	12-	14-	△
		18~20	12-	14-	△
		22上	13-	15-	—
	4	14~16	10-	13-	—
		18~22	13-	15-	—
		24~30	15-	20-	△
	6	32上	15-	25-	—
ヒノキ	3	14~16	13-	15-	—
		18~20	13-	15-	—
		22上	13-	20-	—
	4	14~16	13-	15-	▼
		18~22	16-	20-	▼
		24~30	18-	25-	▼
		32上	20-	30-	▼
	6	16~20	24-	28-	—

※気配欄 △:強含み —:保含 ▼:弱含み

求人案内・情報に関するお問い合わせ

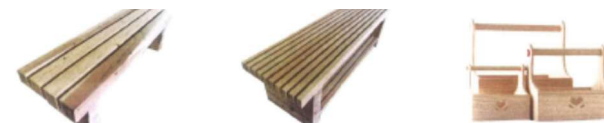
担当：代表理事専務 中 敬男

TEL:0738-54-0701 Mail:naka@kichu-forest.com

和歌山・紀中の森の恵みを全国に

「印南町・日高川町」ふるさと納税 返礼品

正角材ベンチ スリ外型ベンチ バスケット



職人がひとつひとつ手作りで、ほんのりとした木の香りが感じられると好評です。

加工センターでは、「たんころいす」「まき」「いろいろな木工製品」などの制作も行っています。原木や背板も扱っていますので、皆様のご利用をおまちしています。

(加工センター長 中敬男 工場長 栗田正治)

森林整備に関する お問い合わせは こちらへ

TEL 0738-54-0701

FAX 0738-54-0422

担当 業務課 杉谷係長
楠 係長
西川係長

令和5年度事業経過報告【概要】

国内外において、不安定な社会情勢や原材料の高騰等による物価の上昇、急激な円安など日本社会全体に大きな影響を及ぼす事柄が発生しているところですが、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に第5類相当に移行して、経済社会活動での制約が解消され、経済活動も改善されています。

今後、雇用情勢の改善、賃金の上昇、インバウンド需要の増加も期待される場所ですが、木材の利用については依然として全国の住宅着工戸数は右肩下がりの状況であります。紀中流域においては、日高川町大滝川から印南町との町境を通じて田辺市龍神村小家間の延長20キロを通る計画の「林道日高中央線の新設」が今年度予算化されています。

森林組合にとっては、生産性の向上・森林資源の活用等、紀中流域の活性化に果たす役割は大きいと考えます。

林道の新設によって、機械化が推進されることが予想され生産コスト縮減並びに組合員が所有山林に容易に到達できることになり、環境保全への貢献や将来の収入増に向けて、森林整備の必要性が改めて認識されると期待しています。

森林整備事業の状況ですが、組合員各位のご理解、ご協力と共に現業職員の努力により、取扱事業量は計画を上回り、今年度も黒字を計上することが出来ました。

ユーカリ栽培管理業務ですが、出荷本数は計画を上回る事ができ、収入面では大幅に増加し黒字を計上できました。

次に、林産事業の状況は、取扱量の増加に努

めました。が、森林所有者での伐採時期の見直しなどの事情から、素材取扱量は計画を下回って、しいたけ生産事業は、ホダ木の老朽化に伴う発生量の減少等により販売量は昨年度から半減し、少額ですが赤字となりました。

木材加工事業の状況ですが、昨年度と比較して梱包材は減少しましたが、土木資材・マキ等が増加した結果、生産量はほぼ横ばいでした。ただ、収支では昨年度を上回り直接収支の改善最終年度目標値を上回ることが出来ました。今後とも、自組合事業からの原木調達促進と生産コスト縮減に努め黒字に向けた取組を継続してまいります。

実績報告としては

- 素材生産部門…皆伐 3、420㎡
- 搬出間伐 2、214㎡・その他 335㎡
- 森林整備部門…搬出間伐 5、01ha
- 切捨間伐 254、77ha・植栽 8、71ha・下刈り 45、84ha

- 治山請負事業…広葉樹林化 0、74ha

- 加工部門…梱包材を中心に 1、265㎡の製造販売

- ユーカリ栽培管理…5、78haの栽培管理を行いユーカリ枝葉 3、168本の出荷を行いました。

また、これまでも人材確保には大変苦労していますが、令和6年5月頃までに中途採用で2名が新たに仲間に加わってくれます。以上、諸事業の遂行により、当期末剰金を計上できましたことは、職員・現業職員の努力の賜であり、併せて組合員各位のご協力と、ご指導・ご支援賜りました和歌山県、日高川町、印南町、関係機関の皆様深く感謝申し上げます。

【指導部門】

く地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けてく

- 1. 「経営改革」

信頼され、仕事を任せられる組織となるために、経営基盤の強化、経営体制の見直し、事務標準化、監査機能強化に取り組みます。

- 2. 「森林管理体制」

・山林現況の資料を充実させ地籍調査事業等を活用しながら信頼されるデータベースを構築します。

・組合員に対し経費負担を抑えた低コスト施業の提案を行い林業経営の持続を図ります。

・施業共同化プロジェクト（団地化による低コスト林業）を進めます。

・組合員への情報の提供としてホームページの活用及び年に2回広報誌を発刊します。

・ふるさと森林会議の開催に参加し不在所有者との相談や所有林の管理を促進します。

【販売部門】

- 1. 効率的な事業運営を目指すとともに、系統組織の協力を得て販売に努めます。

素材取扱計画 10、000㎡

- 2. 間伐材の利用促進システムプロジェクトに参加し、公共施設等の木造化推進と併せ、間伐材需要拡大を図るため公共土木事業等への利用促進について取り組みます。

【加工部門】

- 1. 梱包材の生産を中心として、積極的な生産出荷を行い、組合員より出荷される原木小丸太を有効活用し、山主還元に取り組みます。
- 2. 効率的な生産を目指すとともに、組合員の協力を得て原木の安定仕入に努めます。
- 3. 製材品の更なる単価アップと、製品の絞り込みを進め、生産の効率化を図ることにより収益性の高い製品を中心に継続して取り組みます。

【森林整備部門】
(森林整備)

- ・造林保育事業の推進
- ・治山事業の実施
- ・建設事業の実施(林道・町道他)
- ・植生の再生を図るため、皆伐事業を積極的に実施します。
- (利用)
- ・治山事業他、公社造林地等測量調査を実施します。

令和6年度事業計画【総括】

「人と山を守る」をスローガンに森林のもつ公益機能を大切にし、森林の守り手として、地場産業として地域を維持する林業の担い手としての自覚をもって、組合員の皆さんに信頼される開かれた組合経営を目指します。

- 1. 労働災害の防止、安全対策を第一の努力目標とし、職員・現場技術職員の安全と健康の確保に努めます。
- 2. 「Forest 紀中森林組合ビジョン 2030」に定める「10年後の夢・目指す姿」の実現に向け取り組みます。

- 3. 3、500haを目標に森林経営計画の樹立に取組み、施業の集約化を目指します。
- 4. 国有林及び和歌山県等が発注する森林整備事業の入札に参加するほか、組合員所有林の森林整備事業を実施するとともに、森林研究・整備機構 森林整備センターとの分収造林事業を実施します。

- 5. 森林環境譲与税や森林経営管理制度により地域の森林管理における市町村の役割が高まっており、制度が円滑に進むよう、日高川町・印南町が実施する対象地の選定や森林所有者への意向調査への協力等、引き続き森林の適切な整備に向け取り組みます。
- 6. 管内のスギやヒノキの人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、「伐って」「使って」「植える」という循環型林業の確立を目指します。

- 7. 加工事業について、令和5年度が収支改善を目指す最終年度として、直接収支の改善目標値を上回ることが出来たことをふまえ、更に、原木調達の促進、生産コストの縮減に努め黒字に向けた取り組みを実施します。

・東京都の受託事業として、ユーカリ栽培管理、供給業務を積極的にを行います。

・森林GISシステムを整備し、森林施業の最効率化を図ります。

・緑育事業を推進します。

・森林保険の普及と加入促進に努めます。

(福利厚生)

・林業労働の安全衛生の徹底を図ります。

(購買)

・林業機械等、造林用苗木、林業用薬剤、肥料等販売を促進します。

(金融)

・組合員の事業推進を図るための制度資金を推進します。

【管理部門】

- 1. 役職員一体となって事業量の確保、運営の効率化、財務の健全化に努めます。
- 2. 売掛金の早期回収に努め、資金運用の効率化を図ります。

- 3. 職員のコンプライアンス意識の徹底を図ります。
- 4. 林業労働力の育成確保

(1)有能な森林組合スタッフを育成確保し、役職員の意識改革と資質の向上を図るための研修会等を開催します。

(2)県林業労働力確保支援センターと連携し、緑の雇用事業の活用を含め、新規就業者の確保に取り組みます。

- 5. 林業労働安全衛生活動の推進

日高・有田の森林組合で結成した、森林組合労働災害防止協議会は、林業労働防止協会和歌山県支部と連携し、「林業死亡災害撲滅運動」並びに「ゼロ災運動」に積極的に取り組みます。

令和5年度 剰余金処分案

科 目	金 額
I 当期末処分剰余金	26,625,523
1 当期剰余金	14,582,654
2 前期繰越剰余金	12,042,869
II 剰余金処分額	15,000,000
1 法定準備金	10,000,000
2 任意積立金	5,000,000
III次期繰越剰余金	11,625,523

組合員の状況

資格区分	組合員数	出資口数
正組合員	2,022	907,492
准組合員	0	0
合計	2,022	907,492